

## 【浦添市】 校務DX計画

校務業務について、ICTを活用し業務改善を目指します。学校における校務の負担軽減を図り、教職員の長時間労働を削減することで、児童生徒と関わる時間や授業の質を向上させるための時間を増やし、学校全体の指導力の向上につなげたいと考えております。以下、本市で取り組んできた校務についてです。

### ① 校務支援システムの活用について

- ・校務支援システムによる諸公簿等の作成や成績処理など、校務処理の効率化が推進できました。令和3年度まで小中で別のシステムを導入していたが、令和4年度から同一システムに変更しました。次世代の校務支援システムについて、文部科学省は、校務・保健・学籍等に関する機能を核とし、クラウド上での運用を前提とすることが望ましいとしています。次回更新等の機会を見据え、新システムの導入に向けた調査を進めていきます。

### ② 組織的対応と情報の共有について

- ・オンラインミーティング、オンライングループウェア「Microsoft Teams」等を活用して情報共有を行いました。オンライングループウェアを通して、会議資料のペーパーレス化を可能とし、業務の改善に役立てています。
- ・教育研究所HP内教職員向けページでの情報発信
- ・情報伝達ツール「コラボノート」やメールシステム「Roundcube」の活用による教育委員会、教育研究所及び浦添市立各小中学校との情報共有

### ③ 学校・保護者間の連絡ツール「てだっこプラスLINE版」

てだっこプラスとは、学校と家庭間のコミュニケーションをサポートする教育コミュニケーションサービスで、令和5年度に運用を開始しました。更に令和6年度から市公式LINEと連携した「てだっこプラスLINE版」へ移行し、主に保護者から学校側に欠席連絡が簡単になりました。学校側では職員室用パソコン管理画面で確認することが容易となり、学校での電話対応等の業務改善や保護者の負担軽減につながっています。

以上のような取組から、校務支援システムの活用や組織的な対応のための情報共有方法の改善を行うことで校務の改善と効率化が推進されており、児童生徒と向き合う時間の確保に繋がることができたのではないかと考えます。

### ④ その他

浦添市全中学校の自動採点システムを導入。小学校での効果の検証を実施します。

今後は、多様な働き方改革の実現に向けた環境整備として、教育委員会・教育研究所サーバーを端末や場所に依存しないクラウドサービスへ移行することも視野に入れることを検討し、グループウェアと連動した校務支援システムの安定的な運用を図ります。学校間や教育委員会との連絡や通知は引き続き電子メールや共有フォルダを利用したり、出勤簿等の押印廃止に取り組みます。